

『VIEW next』高校版・2022年度特集 授業デザインシート

【教科・科目】	
【分野・単元】	CREATIVE English Communication I – Lesson 4 “What Do You Eat for Lunch?”
【テーマ・作品】	日本の弁当文化
【設定時数】	全3時間(本時は1時間目)
【単元の目標】	・英文理解の際に「動詞を見つけること」の重要性に気づくことができる。 ・チャンクごとに英文の意味を理解することができる。

時数	学習内容	自校の生徒の特性を踏まえた各時間における教育目標 (身につけさせたい資質・能力)	左記の資質・能力の「学力の3要素」への分類	授業の大まかな流れ	授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮			育成を目指す資質・能力の評価方法
					主体的な学び	対話的な学び (教師による場づくりへの配慮)	深い学び (教師による思考の活性化・深化への配慮)	
1	・授業のオリエンテーション ・Lesson 4のPart1,2の読解 ・音読活動	初めて読む英文を「主語」「動詞」「それ以外」の3つのパーツに分け、チャンクごとに読解することができる。	知識・技能, 思考力, 判断力	①本単元の目標を提示。 ②Lesson2の本文で動詞を探し、スラッシュを引かせ、ペアでスラッシュの位置を確認。ペアで答えが異なっていたら辞書を活用してどこにスラッシュを引くべきかを考えさせる。 ③②に加えて、主語を見つけてスラッシュを引かせる。②と同様にペアでスラッシュの位置を確認する。 ④Vocabulary Scanning Sheetを使用してチャンク毎に英文を読ませる。 ⑤ペアで音読しながら答えを確認する。		・ペアで答えを確認させ、互いに答えが違っていた場合、協力して辞書などを活用しながらペアで最善の答えを導き出す。	・動詞を見つけることで英文の構造の見え方がどのように変わるのか、簡単な英文を用いて例示する。 ・主語と動詞が見つけられたら、大まかな訳す順番が決定することに気付かせる。	
2	・Lesson 4のPart3,4の読解 ・音読活動		知識・技能, 思考力, 判断力	①前時と同様の活動をPart3,4の英文に対して行う。 ②1文が長い英文でも、主語と動詞を見つけることでチャンク毎の理解がしやすくなることに気づかせる。			・1文が長い英文でも「主語」「動詞」「それ以外」の3つのパーツに分けて考えることで内容理解の手助けになることを理解させる。	ワークシート
3	・個人で音読練習 ・ペアでチャンク毎にフレーズリーディング ・ディクテーション	チャンク毎の音読活動をする前と後でリスニング時の英語の聞こえ方や理解度の変化を感じ、音読の重要性に気づくことができる。	知識・技能, 主体性	①前時までの本文内容をリスニングで確認。 ②全体と個人での音読練習。 ③ペアで本文をチャンク毎に音読練習。 ④①で再生した音声と同じ音声を流し、聞こえ方の違いを確認する。	・音読練習をする前後でリスニングの聞こえ方がどのように変化したか、または変化しなかったかをペアで共有する。			振り返りシート
4								
5								
6								